

# 電気と磁気の発見

## 静電気の発見(紀元前600年)

ギリシャの哲学者タレス(Thales)により琥珀を擦ることにより生じる不思議な現象として静電気を発見。



タレス



琥珀と貴婦人

琥珀はギリシャ語でエレクトム、英語の電気(electricity)の語源となる。二つの物をこすり合わせると摩擦によって静電気が生まれ、摩擦によって正の電気が生ずるか負の電気が生ずるかは、摩擦電気系列による。

+	摩擦電気系列	-							
毛皮	ガラス	雲母	絹	綿	木材	琥珀	樹脂	金属	いおう

## 磁気の本格的な研究(1600年)

ギルバート(イギリス人、エリザベス1世女王の侍医)が1600年に著書「磁気について」において、磁気を体系的に取り上げた。

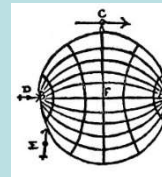


ギルバート

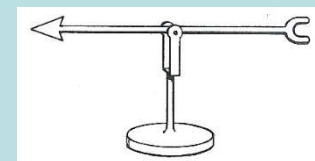


エリザベス女王に磁気を説明

当時の主な発見、発明は地磁気の実験と鉄を磁化させる方法の発明。



磁鉄鉱による地球模型



磁鉄鉱の周囲を観測



18世紀までは電気と磁気は全く別の現象と考えられていた